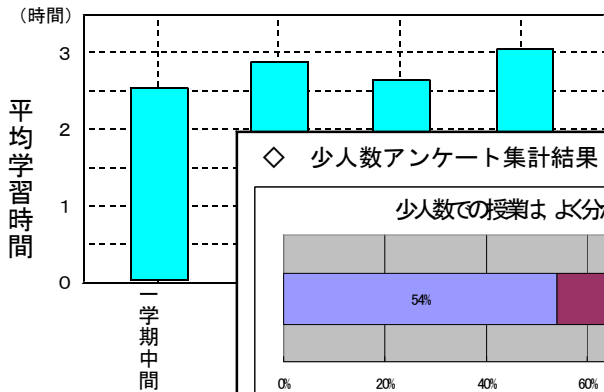


B-2 参考資料

● 調査……基礎学力調査など各種調査・アンケートを行う。

◇ 学習量調査集計結果

学習量の調査は、家庭学習の意識付けをねらいとして、定期テスト1週間前を重点的に、個人のデータを追跡調査する形で実施している。以下のグラフは、全校生徒の平均学習時間の推移である。学習の時間が、概ね良好に増加していることがわかる。



◇ NRT全国学力調査の結果

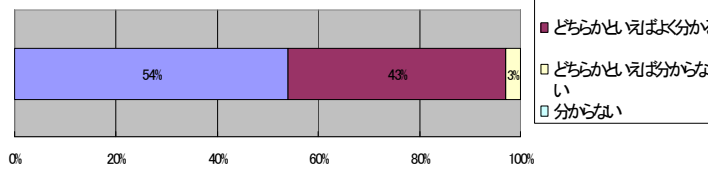
全学年に対して、学力調査を実施した。以下の表は、各教科における全国通過率との比較である。

- ◎：全国平均よりよい
- ：全国平均よりややよい
- ▲：全国平均よりやや悪い

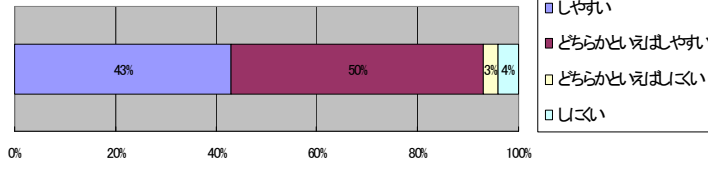
	社会	数学	理科	英語
1. 6	▲	—	—	—
5. 8	—	—	—	—
3. 5	○	61.9	○	—
3. 9	—	55.1	—	—
5. 2	◎	63.4	◎	—
5. 3	—	53.5	—	—

◇ 少人数アンケート集計結果

少人数での授業はよく分かりますか



手を挙げたり、発言・発表しやすいですか



● 計画・指導……改善が生きる計画を立て、指導・実践する。

各教科の実践

● 改善……課題を明確にし、各教科において改善点を示す。

< 対応策 >

◇ 英語

英語科の通過率が約78%と県全体の平均通過率を7%上回っており、今まで取り組んできた成果が現われたと考えることができる。昨年度、一昨年度と「聞くこと」の分野が優れており、その傾向は今年度も見られる。今まで音読、黙読、ALTなどNative Speakerとの会話活動、聞き取り練習に時間を費やしてきた結果であると考えられる。今後は、それを「読みとる」力と「書く」力をつける取り組みへと発展させる必要がある。そのために「ディクテーション」や「単語力」を付けるために、毎時間「リズムでビンゴ」を行い、その単語を使って1問1答形式で!

● 分析……調査に基づき、現状の生徒の実態を把握する。

< 基礎学力調査の分析 >

◇ 国語

- 1 「話すこと・聞くこと」に関して
 - ・ 「説得力のある表現の仕方に注意して聞き取る」「話の中心点を聞き取る」問題では十分な結果は得られなかった。
 - ・ 今後は他の考えや感想の発表を聞く際、メモを取ったり聞き取った内容を簡単にまとめたりする機会を持つようにし、定着を図りたい。
- 2 「書くこと」に関して
 - ・ 「根拠を明らかにし、論理的に書き表す」問題については良好であった。今後も根拠を挙げて文章を書く機会を確保したい。
- 3 「読むこと」に関して
 - ・ 説明的文章については、「文章の構成や展開を的確にとらえる」「筆者の表現